

# 府営水道・高度浄水処理水は 大阪府民615万人の暮らしの水

大阪府営水道は高度浄水処理水を府内41市町村(大阪市・豊能町・能勢町を除く)約615万人の府民の皆様にお届けしています。各市町村水道から府民の皆様にお届けしている水の約7割が、府営水道水です。

水源は琵琶湖から大阪湾へと注ぐ淀川。3つの浄水場で、淀川の水(原水)を生物処理(三島浄水場のみ稼働)→凝集沈殿→急速ろ過→オゾン処理→粒状活性炭処理→塩素消毒と高度な処理をし、「安全でおいしい水」をつくっています。



## 高度浄水処理水は、 生で飲んでもおいしい

琵琶湖では、毎年プランクトンが異常繁殖しています。そのため、高度浄水処理が導入されるまでは、水道水にカビ臭が発生することがあり、大阪の水はまずいとの声が出ていました。平成10年に高度浄水処理水を全量供給してからは、「安全でおいしい水をお届けできるようになり、「生で飲んでもおいしい」と喜んでいただけるようになりました。

## 朝、水筒に入れた水は 夕方飲んでも大丈夫？

水筒を清潔に保てれば、大丈夫です。ただし、飲むたびに空気にふれることになるので、毎日、入れ替えてください。また、直接、水筒に口をつけると雑菌が入る恐れがあるので、気をつけてください。ちなみに生水がおいしいと感じる水温は、10〜15度と言われています。



## 日本は雨がが多いから、 水に恵まれている？

日本の年間平均降水量は1714mm。サウジアラビアに比べるとおよそ17倍も多く降ります。しかし、国の面積が小さいうえに人口が多いため、一人当たりの降水量はサウジアラビアの3分の1程度と、少ないのです。

このため日本では、古くから各地にため池や堰を作るなど、水の確保に努力してきました。私たちの水源である琵琶湖も、平成3年度に概成した琵琶湖開発事業などにより、渇水時における府民生活への影響は減少されましたが、水は私たちの貴重な資源。水を大切にしようという一人ひとりの心がけが必要ですね。



国土庁・水資源白書 (平成11年)

国	年間平均降水量 (mm/年)	一人当たり年間降水量 (m <sup>3</sup> /人/年)
日本	1,714	5,160
オーストラリア	460	221,416
カナダ	522	203,337
旧ソ連	502	40,144
アメリカ	760	29,485
サウジアラビア	100	17,769
フィリピン	2,360	12,738
フランス	750	7,478
中国	660	5,907
イタリア	1,000	5,260
インド	1,170	5,021
イギリス	1,064	4,624

## 水道の水も地球を循環

市町村水道を経由して各家庭に届けられた水道水は、生活排水となって、下水処理場へ運ばれます。そこから河川を経て、大阪湾へと注ぎ、世界の海へとつながります。海水は太陽に熱せられて蒸発し、上空で冷えると雨や雪となって、陸や海に戻ってきます。地球上の水はいつも循環。だから、できるだけ汚さないようにしたいですね。



数字で見る

## 世界の水問題



60億人

世界人口は2000年に60億人を突破。2025年には80億人に達すると予測されています。開発途上国での人口の増加や都市への集中は、水不足や水質汚染、水害による被害拡大の要因になると懸念されています。

31カ国

地球上の192カ国のうち、31カ国で絶対的水不足に陥っています。日本人1人当たりの生活用水使用量323リットル(2001年)に対し、アフリカのモザンビークでは1日10リットル以下という状況にあります。

11億人

安全な飲料水が確保できない人の数。世界人口の6分の1以上を占めます。

80%

ユニセフによると、開発途上国で起る病気のうち、その80%が汚れた水が原因であり、水に関わる病気で亡くなる子どもは、8秒に1人のペースだそうです。



0.01%

地球上に存在する水のうち97.5%は海水であり、淡水は2.5%ほど。しかも大半は氷や地下水のため、簡単に使える水はわずか0.01%に過ぎません。



0.3〜1メートル

このまま地球温暖化が進む場合、2100年には海面が0.3〜1メートル上昇すると予測されています。すでに海面に近い沿岸や低地に住む人々には、その影響が始まっています。

